

介護支援専門員実務研修
13日目

実習振り返り

1

本科目の目的と修得目標

下巻P29・P31

◆目的

実習を通して得られた気づきや課題を客観的に振り返り、今後の学習課題を認識する。

◆修得目標

- ①実習で学んだこと、気付いたことを他者に要約して報告できる。
- ②受講者間相互の情報共有・意見交換を踏まえて自らの学習課題について説明できる。

2

実習報告のまとめ・学んだこと

- 1.「見学実習報告書」を用いて、各自学んだこと、気づいたことを演習シートに記入する

実習報告のまとめ・学んだこと

- 2.実習全体の振り返り・学んだことをまとめる
特に印象に残っていることなど…

◆個人ワーク(35分)

3

◆個人ワーク(5分)

4

実習報告のまとめ・学んだこと

3.見学実習および10～12日目を終えての自己の課題（簡条書き）

4.優先順位(優先順位の番号を入れる)

◆個人ワーク(5分)

実習報告の情報交換

1.シートをもとに、実習報告を具体的に情報交換をしてください

◆時間配分
(説明10分,メンバーからの質問5分)×4人
◆発表(15分)

自己の課題とその優先順位

2.シートをもとに、自己の課題と優先順位の情報交換をしてください

◆グループワーク(20分)→発表(10分)

第2節 今後の学習課題について

国の検討委員会での指摘

下巻P36～37	
指摘事項	対応
① 介護保険の理念である「自立支援」の考え方が、十分共有されていない。	第1章第1節で示した「自立支援4つのポイント」が基本
② 利用者像や課題に応じた適切なアセスメント（課題把握）が必ずしも十分でない。	身体・精神・環境の相互作用分析の思考回路を鍛え、知識を蓄えることが基本
③ サービス担当者会議における多職種協働が十分に機能していない。	①②が不十分であれば機能しないのは当然。②を高めることが基本
④ ケアマネジメントにおけるモニタリング、評価が必ずしも十分でない。	①②が不十分であれば当然のことである。②を高めることが基本
⑤ 重度者に対する医療サービスの組み込みをはじめとした医療との連携が必ずしも十分でない。	①②が不十分であれば当然のことである。②③を高めることが基本。事例検討会、リハビリテーションマネジメント会議への出席により学ぶことが基本
⑥ インフォーマルサービス（介護保険給付外のサービス）のコーディネート、地域のネットワーク化が必ずしも十分でない。	国保連に提出する「給付管理票」の対象サービスの計画することがケアマネジメントであると勘違いしないこと。身体・精神・環境の相互作用を考えることが基本